

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

わらぶき 藁葺の校舎

昭和12年撮影

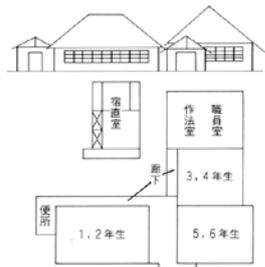


▲校舎前での集合写真(写真1)

※写真2・図1ともに『女化 土づくりムラづくり苦闘百年』
昭和60年刊行より



▲大正初期に撮影された藁葺の校舎(写真2)



▲校舎平面図(図1)

昭和12年に撮影された岡田第四尋常小学校の卒業記念写真です(写真1)。女化開拓地移住者の寄付によって明治31年に建てられた校舎(写真2)は藁葺の曲がり家で、3つの教室と職員室で構成されていました(図1)。同校は昭和13年春に新校舎建築工事が始まり、このとき藁葺の校舎は解体されました。



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

結実期の樹冠：城中町稲荷川岸
平成12年5月16日撮影

第15回

タチヤナギ



裂開始めの果実：
城中町稲荷川岸
平成12年5月12日撮影



北海道〜九州に分布する落葉小高木。牛久では牛久沼畔、川岸などに自生。成葉は披針形ないし長楕円状披針形。長さ5〜15cm、幅13〜25mm、縁に細鋸歯があり、側脈は16〜18対、裏面は淡緑色で白色をおびます。雌雄異株。小

【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章：戸塚昌宏、写真：渡辺泰)

型の葉3〜6個をつけた短い枝が出て、先に花穂が直立し、長さ2〜6cmになります。雄しべは3個、花糸の下方は有毛。雌花の子房は無毛。5月、果実が裂け、他のヤナギ類と共に枠内写真のようない白い綿毛のある種子が風の強い日に舞い、雪が降っているような光景に出会います。名前は漢字の立柳、木の姿が立ちあがって見えることに由来します。
※牛久の里山樹木ハンドブック41ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。

文芸さろん | 弥生 |

稀勢の里春連れ来たりときわ路に 天高く夢果てしない神宮の 森を四股踏む鬼のまわしよ 牛久市の総出の応援夢かない ひさびさの雛の茶会に誘われて 日本の文化に心ふれあう 寒空に風に吹かれし身にしみる 朝日のぼるし輝くひかり	稀勢の里関横綱昇進 松岡さん	堀さん たけやん
--	-------------------	-------------

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512
E-mail：shimin@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)